



さくら便り

29号

令和4年4月

3月21日、桜の開花宣言が岐阜でありました。高田の桜も蕾が膨らんできています。回覧板が回るころには満開の事でしょう。会は27日、北島墓地の北に植えた桜の手入れをしました。桜木の周りの草を取り除き、新しい土と肥料を加え、オルトランを散布し、桜木の周りに草が生えない様袋を敷きました。この状態で見守っていきます。早く大きくなり、立派な花を見たいものです。

(散歩の友) 今回は手力雄神社について書かせて戴きます。創建については確たる資料はありませんが、延喜年代(901~922)の美濃神名帳には厚見郡従五位下手力雄明神として登録されていますので、創建はそれ以前と思われます。当初は農耕の神・水の神として靈驗あらたかな神社でありました。今も拝殿に「雨請御礼」の札が掲げられています。その後武勇の神としても崇められました。1337年土岐頼遠が長森城を築くにあたって、境川(旧木曾川)に臨む要害の地であったことと、武神の神であった手力雄神社があったことも考慮された様です。当時は七堂伽藍を構えた大寺院で、神域も広がったとの事です。その後も繁栄が続き、安土桃山時代には織田秀信(信長の孫)の祈祷所でありました。関ヶ原合戦で秀信が西軍についたため、手力雄神社も破壊されました。1616年、小野木氏の寄進で再建され現在に至っています。手力雄神社と云えば何と云っても火祭りが有名です。昔は5・9・11月の3回、明治初期には9・11月の2回祭りが行われ、現在は4月に行われています。火祭りに何時頃なったかは分かりませんが、長森13か村の氏子が集まり精悍だった事でしょう。ここ数年コロナの影響で、火祭りは行われていません。早くコロナが収束して、火祭りを見たいものです。因みに各務原の手力雄神社は、美濃神名帳には各務郡従五位下真幣明神として登録されています。又、神域に手力寺があったことが、信長の禁制により知られています。(参考資料「長森史考」)

(ホームページ)

パソコン

<https://gifutakatamachi.sakura.ne.jp/wp/>



スマホ・タブレット

さくらを愛する会